

2022年度
日本史入試問題
(2022年2月5日実施)

座席番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[注意]

1. 解答はすべて「解答用紙」の所定の欄に記入してください。
2. 問題用紙および解答用紙は持ち帰ってはいけません。
3. 使用用具は、黒鉛筆またはシャープペンシル（H、F、HB、B）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のものは不可）とし、それ以外の使用は認めない。

解答用紙はマークセンス方式です。

1. 解答用紙は、汚したり折り曲げたりしないこと。
2. マークの記入に際しては、解答用紙に示されたマーク記入例に従って黒鉛筆またはシャープペンシル（H、F、HB、B）で正確に記入すること。
3. 記入間違いは、消しゴムで完全に消してから記入すること。
4. 座席番号記入欄には座席番号を、解答欄にはマークを記入すること。
氏名記入欄には受験票記載通りに、氏名・フリガナを記入すること。

【1】 税制の歴史について述べた次の文章を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

日本における税の歴史は、弥生時代にさかのぼる。3世紀に存在した邪馬台国の様子を記録した **ア** には、「租賦を収むに邸閣（※倉庫のこと）あり」と記述されており、農作物などを税として納める制度があったことがうかがえる。6世紀にヤマト政権が構築した氏姓制度の下では、^(a) 大王と豪族はそれぞれに土地・人民を支配しており、それぞれが支配する人民から税を徴収していたと考えられる。 8世紀に整備された律令制度の下では、^(b) 租・庸・調を中心に税制が整備されたが、成人男性に課された人頭税の負担は重く、民衆の一部は負担を逃れようとしたため、次第に戸籍や計帳による人民の把握が困難になっていった。

10世紀にはそれまでのように人頭税を徴収して国家財政を運営することが困難になり、朝廷は国司に徴税を請け負わせるようになった。国司は人頭税にかえて土地を単位に徴税するようになり、有力農民である田堵に田地の耕作を請け負わせ、^(c) 官物と臨時雑役を課すようになった。 一方、11世紀以降、不輸の権を得る荘園が増加し、さらに^(d) 11世紀後半に荘園整理が進められて荘園と公領の区別が明確になるなかで、いわゆる荘園公領制が成立していった。 荘園公領制の下では、民衆に課された年貢・公事・夫役などは、国家に納めるのではなく、現地を管理する荘官から荘園領主（国司）に納入され、土地に関する権利は分有された。

平安時代末期以降^(e) 中国から大量に銭が輸入され、やがて年貢などの銭納が行われるようになった。 室町時代には貨幣経済の発達を背景に、^(f) 幕府は銭で徴収するさまざまな税を財源とした。 戦国大名は年貢の銭納を基盤に貫高制をとり、貫高を家臣への土地給与や軍役負担の基準とする体制をつくりだしていった。

豊臣秀吉によるいわゆる^(g) 太閤検地によって荘園制の下での複雑な権利関係は整理され、検地帳に登録された農民が年貢などを負担する一地一作人がとられた。この体制をひき継いだ江戸幕府は、本百姓中心の村を支配の基盤とし^(h) 村請制に依存して徴税した。 江戸時代後半には、幕府・諸藩の財政悪化の影響を受けて年貢率が引き上げられるなど徴税が強化されたのに対して、百姓一揆が多発した。

明治政府は成立後、財政難に苦しみ、廃藩置県後には近代的税制の構築をはかって⁽ⁱ⁾ 地租改正を断行した。以後地租が明治政府の主要な財源となったが、その後、酒税などの間接税が次々に新設され、次第に間接税が中心となっていった。第二次世界大戦後の占領期にはアメリカ主導で税制改革が企画され、いわゆる **イ** によって直接税中心の税制が採用された。

問1 文章中の空欄 ・ に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ア－「魏志」倭人伝 イ－シャウブ勧告
- ② ア－「魏志」倭人伝 イ－ドッジ＝ライン
- ③ ア－『宋書』倭国伝 イ－シャウブ勧告
- ④ ア－『宋書』倭国伝 イ－ドッジ＝ライン

問2 下線部(a)に関連して、大王や豪族が支配した土地・人民に関して述べた次の文X・Yと、その下線部に該当する語句 a～d との組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

X 大王やヤマト政権は、各地に直轄地を設けていった。

Y 豪族が支配した私有民は、豪族の名によって呼ばれることが多かった。

a 田荘 b 屯倉 c 部曲 d 名代

- ① X－a Y－c ② X－a Y－d
- ③ X－b Y－c ④ X－b Y－d

問3 下線部(b)に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 租は口分田などの収穫から30%程度の稲を納めるもので、主に地方の財源になった。
- ② 庸は地方での雑徭に代えて布を納めるもので、中央政府の財源になった。
- ③ 調は布・糸など各地の特産品を納めるもので、中央政府の財源になった。
- ④ 成人男性には、庸・調を中央政府に運ぶ防人の義務が課せられた。

問4 下線部(c)に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

X 官物は、租・庸・調や公出挙の利稲などの系譜をひく税であった。

Y 臨時雑役は、雑徭などの系譜をひく税であった。

- ① X - 正 Y - 正 ② X - 正 Y - 誤
③ X - 誤 Y - 正 ④ X - 誤 Y - 誤

問5 下線部(d)に関連して、この荘園整理に関する次の史料に関して述べた文として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

コノ 位ノ御時^{おんとき}、…… ノ記録所トテハジメテヲカレタリケルハ、諸国七道ノ所領ノ宣旨^{せんじ}・官符^{かんぷ}モナクテ公田^{くでん}ヲカスル事、一天四海ノ巨害^{こがい}ナリトキコシメシツメテアリケルハ、スナハチ宇治殿ノ時、一ノ所ノ御領御領トノミ云テ、^{しょうえん} 庄園諸国ニミチテ受領^{ずりょう}ノツトメタヘガタシナド云ヲ、キコシメシモチタリケルニコソ。……

(『愚管抄』)

- ① 空欄 には、「後三条」が入る。
② 空欄 には、「延久」が入る。
③ 摂関家の荘園が、国司の職務の妨げになっていた状況が述べられている。
④ 史料の筆者である慈円は、鎌倉時代初期に摂政・関白を務めた人物であった。

問6 下線部(e)に関連して、輸入銭に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

Ⅰ 朝廷は九条兼実が関白であったときに、輸入銭の流通を禁止した。

Ⅱ 貿易を通じて輸入された洪武通宝・永楽通宝なども流通するようになった。

Ⅲ 高德院阿弥陀如来像（鎌倉大仏）の素材に、輸入銭が用いられた。

- ① Ⅰ - Ⅱ - Ⅲ ② Ⅰ - Ⅲ - Ⅱ ③ Ⅱ - Ⅰ - Ⅲ
④ Ⅱ - Ⅲ - Ⅰ ⑤ Ⅲ - Ⅰ - Ⅱ ⑥ Ⅲ - Ⅱ - Ⅰ

問10 下線部(i)に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 10

X 課税の基準が、収穫高から地価に変更された。

Y 納税者は、土地所有者から実際の耕作者に変更された。

① X - 正 Y - 正

② X - 正 Y - 誤

③ X - 誤 Y - 正

④ X - 誤 Y - 誤

【2】 原始・古代と中世の外交などについて述べた次の文章A・Bを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A 原始・古代の日本列島の人々は、海で隔てられた朝鮮半島の人々とさかんに交流し、(a)さまざまな技術や文化を受け入れた。(b)弥生時代には日本列島の小国が朝鮮半島に存在した中国王朝の出先機関に使いを送ったり、中国王朝に朝貢したりした。古墳時代にも(c)ヤマト政権が朝鮮半島諸国と関係を結ぶとともに、中国王朝に朝貢した。ヤマト政権（倭国）は7世紀には(d)遣隋使・遣唐使を派遣し中国王朝と関係を結んだが、朝鮮半島では、倭国と関係の深かった百済・高句麗が唐と(e)新羅に滅ぼされ、倭国の勢力は後退した。8世紀には唐との間では安定した関係が結ばれたが、新羅との関係は悪化し、一方、中国東北部の渤海とさかんに交流するようになった。9世紀には遣唐使の派遣もまばらになり、9世紀末にはその派遣は停止された。10世紀前半には、唐・渤海・新羅が滅亡するなど東アジアでは大きな変動が起こり、日本は以後成立した周辺諸国とは正式な国交を結ばなかった。

問1 下線部(a)に関連して、朝鮮半島を経由して伝えられた技術や文化に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 11

- ① 縄文時代晩期には、水稻農耕が伝えられた。
- ② 弥生時代には、青銅器や鉄器が伝えられた。
- ③ 古墳時代には、乗馬の技術や馬具が伝えられた。
- ④ 奈良時代には、漢字が伝えられた。

問2 下線部(b)に関連して、弥生時代の日本列島や周辺地域の様子に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 12

- a 水稻農耕は、弥生時代前期のうちに現在の青森県まで伝わった。
- b 水稻農耕では、籾は直播され田植えは行われていなかった。
- c 北海道では、漁労・狩猟を基礎とする擦文文化が成立した。
- d 南西諸島では、貝塚文化とよばれる食料採取文化が続いた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問3 下線部(c)に関連して、ヤマト政権に関わった6～7世紀の出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 13

- Ⅰ 九州の豪族である筑紫国造磐井が、ヤマト政権に対して兵をあげた。
- Ⅱ 崇峻天皇が暗殺された後、初めての女性天皇である推古天皇が即位した。
- Ⅲ 蘇我入鹿が、有力な皇位継承候補者であった山背大兄王を滅ぼした。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問4 下線部(d)に関連して、遣隋使・遣唐使に関わった人物に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する人物a～dとの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 14

- X 留学生として遣隋使に同行し隋・唐で長期にわたって学び、帰国後、大化改新政府で国博士となった。のち、遣唐使として唐に渡り長安で死去した。
- Y 留学生として遣唐使に同行し唐で長期にわたって学び、帰国後には聖武天皇に信任され活躍した。最終的には、地方豪族出身としては異例の右大臣にまで昇進した。

a 高向玄理 b 南淵請安 c 吉備真備 d 阿倍仲麻呂

- ① X－a Y－c ② X－a Y－d
- ③ X－b Y－c ④ X－b Y－d

問5 下線部(e)に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 15

- X 朝鮮半島南西部の馬韓諸国を統一して台頭した。
- Y その王であった聖明王が、倭国に公式に仏教を伝えた。

- ① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤
- ③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

B 平安時代後期には、おもに九州の博多に来航した宋の商人との間で民間貿易が行われた。12世紀には平忠盛が貿易に力を入れ、さらに^(f)平清盛が宋船の畿内への招来をはかって摂津の大輪田泊を修築した。鎌倉幕府成立後も貿易は継続して行われたが、中国ではモンゴル族が勢力を拡大し元を建国するとともに、日本の征服をはかって^(g)軍事行動を起こした。その後も元との貿易は継続されたが、14世紀には が元を北方に追って明を建国した。室町幕府は15世紀に明と正式な国交を開き^(h)勘合貿易が始まった。貿易は一時中断したものの再開され、以後は継続して行われた。幕府の衰退とともに貿易の実権は有力大名の手に移っていったが、最終的には大内氏が貿易を独占した。16世紀半ばに大内義隆が家臣の に滅ぼされると貿易は断絶した。一方、14世紀末に建国された⁽ⁱ⁾朝鮮とも国交が開かれて、さかんに貿易が行われた。

問6 文章中の空欄 ・ に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- | | | | |
|---------|-------|---------|--------|
| ① ア－李成桂 | イ－陶晴賢 | ② ア－李成桂 | イ－毛利元就 |
| ③ ア－朱元璋 | イ－陶晴賢 | ④ ア－朱元璋 | イ－毛利元就 |

問7 下線部(f)に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 保元の乱で勝利したが、平治の乱で敗北した。
- ② 後白河上皇に奉仕し、蓮華王院を造営した。
- ③ 武士として初めて関白に就任した。
- ④ 安徳天皇とともに、壇の浦の戦いで敗死した。

問8 下線部(g)に関連して、蒙古襲来に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

X 文永の役では、防塁（石築地）の効果により元軍の博多湾岸への上陸を阻止した。

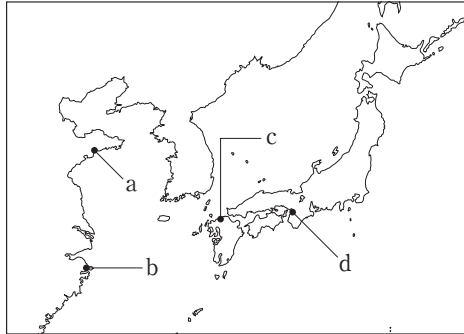
Y 弘安の役では、元軍は暴風雨により大きな損害を受け撤退した。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X－正 | Y－正 | ② X－正 | Y－誤 |
| ③ X－誤 | Y－正 | ④ X－誤 | Y－誤 |

問9 下線部(h)に関して述べた次の文X・Yと、地図中に示した場所a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 19

X 日本から派遣された遣明船は、この地で勘合の査証を受けた。

Y 細川氏は、この地の商人と手を結んで貿易を行った。



- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X - a | Y - c | ② X - a | Y - d |
| ③ X - b | Y - c | ④ X - b | Y - d |

問10 下線部(i)に関連して、日本と朝鮮との国交や貿易に関して述べた次の文I～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 20

I 日本軍が朝鮮南部に上陸し、北上して都の漢城を占領した。

II 三浦に住む日本人が暴動を起こしたが、鎮圧された。

III 朝鮮軍が、倭寇の根拠地とみなした対馬を襲撃した。

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| ① I - II - III | ② I - III - II | ③ II - I - III |
| ④ II - III - I | ⑤ III - I - II | ⑥ III - II - I |

【3】 近世の文化などについて述べた次の文章A・Bを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

A 室町時代に水墨画に大和絵の手法を取り入れて始まった狩野派は、^(a)桃山文化期に城郭建築の内
部を飾る豪華な障壁画制作の中心となった。江戸時代に入ると が幕府の御用絵師となり、
以後も子孫がその地位を継承して画壇の主流を形成したが、様式の継承が重視され新たな発展はみ
られなくなった。伝統的な大和絵では、室町時代に生まれた土佐派が勢力を持ち、江戸時代前期に
は土佐光起が出て朝廷の絵師になった。また土佐派から分かれた住吉派の住吉如慶・具慶父子も幕
府の御用絵師となった。京都では土佐派の画風をもとにした^(b)俵屋宗達が装飾画を発展させ、さら
に尾形光琳が出ていわゆる琳派が生まれた。

^(c)庶民の風俗などを描く絵画として江戸時代前期に生まれた浮世絵は、版画によって大量生産さ
れ安価となったこともあって、民衆の人気を得た。江戸時代後期には、 が多色刷りの浮世
絵版画を創始してますます人気となり、寛政期には喜多川歌麿・東洲斎写楽らが出て全盛期を迎
え、さらに文化・文政期には葛飾北斎・歌川広重らの風景版画が流行した。また、^(d)蘭学とともに
西洋画の技法が伝えられ、日本人の手によって作品が制作された。

問1 文章中の空欄 ・ に入る人物の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の
うちから一つ選びなさい。

- ① ア－狩野探幽 イ－菱川師宣 ② ア－狩野探幽 イ－鈴木春信
③ ア－狩野正信 イ－菱川師宣 ④ ア－狩野正信 イ－鈴木春信

問2 下線部(a)に関連して、桃山文化期に活動した人物に関して述べた次の文X・Yと、それに該当
する人物 a～d との組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

X 堺の商人出身で、織田信長や豊臣秀吉に仕えるとともに茶道を確立した。
Y 堺の商人で、節づけした小歌が民衆の人気を博した。

a 千利休 b 村田珠光 c 宗鑑 d 高三隆達

- ① X－a Y－c ② X－a Y－d
③ X－b Y－c ④ X－b Y－d

問3 下線部(b)に関連して、俵屋宗達・尾形光琳に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 23

X 俵屋宗達は、装飾画の代表作である『唐獅子図屏風』を制作した。

Y 尾形光琳は装飾画を大成したほか、『八橋蒔絵螺鈿硯箱』などの蒔絵でも知られる。

- ① X - 正 Y - 正 ② X - 正 Y - 誤
③ X - 誤 Y - 正 ④ X - 誤 Y - 誤

問4 下線部(c)に関連して、庶民の風俗を描いた江戸時代の文学作品に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 24

I 井原西鶴は、『好色一代男』を著した。

II 山東京伝は、『仕懸文庫』を著した。

III 為永春水は、『春色梅児誉美』を著した。

- ① I - II - III ② I - III - II ③ II - I - III
④ II - III - I ⑤ III - I - II ⑥ III - II - I

問5 下線部(d)に関連して、蘭学や西洋画に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 25

a 大槻玄沢は、江戸に蘭学塾である適々斎塾（適塾）を開いた。

b 稲村三伯は、蘭日辞書である『ハルマ和解』をつくった。

c 平賀源内は、エレキテルなどを製作するとともに西洋画も描いた。

d 円山応挙は銅版画を創始し、『不忍池図』などを制作した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問8 下線部(g)に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 28

- ① 本草学では、貝原益軒の『大和本草』などが出版された。
- ② 農学では、大蔵永常の『農業全書』などが広く利用された。
- ③ 和算では、関孝和が『塵劫記』を著した。
- ④ 暦学では、渋川春海が宣明暦を作成した。

問9 下線部(h)に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 29

X 徳川光圀は『大日本史』を著し、そのなかで尊王論を主張した。

Y 新井白石は『采覧異言』を著し、そのなかで徳川政権の正統性を主張した。

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X - 正 | Y - 正 | ② X - 正 | Y - 誤 |
| ③ X - 誤 | Y - 正 | ④ X - 誤 | Y - 誤 |

問10 下線部(i)に関連して、古典研究や国学に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 30

I 本居宣長は『古事記』を研究して、『古事記伝』を著した。

II 平田篤胤は、国粹主義的傾向の強い復古神道を大成した。

III 契沖は『万葉集』を研究して、『万葉代匠記』を著した。

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| ① I - II - III | ② I - III - II | ③ II - I - III |
| ④ II - III - I | ⑤ III - I - II | ⑥ III - II - I |

【4】 近代の政治について述べた次の文章A・Bを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

A 明治政府は欧米諸国を模範とした近代国家となることをめざし、政治・経済・産業・軍事などで(a)さまざまな改革を進めていったが、その過程で旧来の特権を失っていった士族や負担の増加を懸念する農民の抵抗が起こった。また改革の主導権をめぐる争いも起こり、敗れた勢力は(b)自由民権運動を開始して政府を攻撃する動きをみせた。自由民権運動と対峙するなかで、政府も立憲制の整備に取り組み、明治時代中期には(c)大日本帝国憲法が制定され、議会も開設された。

議会開設後は、藩閥勢力を中心とした政府と、民権派の流れをくむ政党との対立が続き、政府は議会運営に苦しんだが、(d)日清戦争の前後から政府と政党は接近し、戦後には政党内閣も出現した。こうした流れに対して政党を警戒する(e)山県有朋らは、政党の影響力が官僚や軍部に及ぶのを防止する施策をとったが、一方で伊藤博文は自ら政党を結成した。この二つの流れはこの後、桂太郎らの勢力と西園寺公望らの勢力に受け継がれ、山県・伊藤らは元老として政界を動かすようになった。

問1 下線部(a)に関連して、明治時代初期に行われた改革に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 31

- a 版籍奉還によって藩は消滅し、国内の政治的統一が完成した。
- b 新貨条例によって円・銭・厘の新単位が定められ、貨幣制度の統一がめざされた。
- c 徴兵令が出され、国民皆兵を原則とする統一的な兵制が立てられた。
- d アメリカの制度にならって学制が公布され、統一的な教育制度がつけられた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問2 下線部(b)に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 32

- I 国会期成同盟が結成され、国会開設請願書を提出しようとした。
- II 政社の全国組織として、大阪に愛国社が設立された。
- III フランス流の急進的な自由主義を唱える自由党が結成された。

- ① I - II - III ② I - III - II ③ II - I - III
④ II - III - I ⑤ III - I - II ⑥ III - II - I

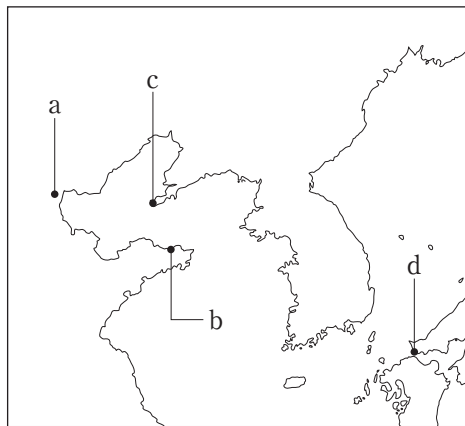
問3 下線部(c)に関連して、大日本帝国憲法の制定過程や内容などに関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 33

- ① ドイツ人顧問ロエスレルらの助言を受けながら、憲法の起草が進められた。
- ② 憲法草案の審議は、天皇臨席のもとに枢密院で行われた。
- ③ 神聖不可侵とされた天皇は、統治権の総攬者とされた。
- ④ 国民には基本的人権として、生存権などの社会権が認められた。

問4 下線部(d)に関して述べた次の文X・Yと、地図中に示した場所a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 34

X 日本軍は、清国の北洋艦隊の基地であったこの地を占領した。

Y 日清間の講和条約は、この地で締結された。



- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X - a | Y - c | ② X - a | Y - d |
| ③ X - b | Y - c | ④ X - b | Y - d |

問5 下線部(e)に関連して、この時期の山県有朋・伊藤博文の動向に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 35

X 第2次山県有朋内閣は、軍部大臣現役武官制を廃止した。

Y 伊藤博文は立憲政友会を結成し、総裁となった。

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X - 正 | Y - 正 | ② X - 正 | Y - 誤 |
| ③ X - 誤 | Y - 正 | ④ X - 誤 | Y - 誤 |

B 大正時代が始まった年に起こった^(f)第一次護憲運動で第3次桂内閣は退陣に追い込まれたが、代わって成立した第1次山本権兵衛内閣も、事件で民衆の抗議行動を受け退陣した。こうした民衆運動の高揚や、^(g)美濃部達吉らの政治思想の影響などからいわゆる大正デモクラシーの風潮が高まり、民衆の政治参加を求める声が次第に強まった。

米騒動の責任をとって非立憲的な寺内正毅内閣が退陣したあと、元老が政党内閣を認め原敬が組閣したのも、こうした民衆の動向を反映していた。しかし原内閣はこの時期に高まった男性普通選挙権の獲得を求める運動には冷淡で、選挙権の納税資格を3円以上に引き下げただけにとどまった。結局、選挙権の納税資格撤廃が実現したのは、第二次護憲運動の結果成立した^(h)加藤高明内閣のもので、いわゆる普通選挙法が成立した時であった。

護憲三派の連立内閣であった加藤高明内閣の成立から、事件で犬養毅内閣が退陣するまで、⁽ⁱ⁾「憲政の常道」とよばれる政党内閣の時代が続いたが、事件後には挙国一致内閣として斎藤実内閣が成立し、以後太平洋戦争後まで政党内閣は復活しなかった。普通選挙法成立後には、総選挙では無産政党勢力も議席を獲得するようになったが、次第にその多くは右傾化し、大政翼賛会成立とともに解散した。

問6 文章中の空欄・に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- | | | | | | |
|---|---------|--------|---|---------|--------|
| ① | ア－シーメンス | イ－二・二六 | ② | ア－シーメンス | イ－五・一五 |
| ③ | ア－ロッキード | イ－二・二六 | ④ | ア－ロッキード | イ－五・一五 |

問7 下線部(f)に関連して、次の史料は衆議院で行われた尾崎行雄による演説の一部である。この史料の内容に関して述べた下の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

37

(ア) 彼等ハ常ニ口ヲ開ケバ直ニ忠愛ヲ唱ヘ、恰モ忠君愛國ハ自分ノ一手専売ノ如ク唱ヘテアリマスルガ、其為ストコロヲ見レバ、常ニ玉座ノ蔭ニ隠レテ、政敵ヲ狙撃スルガ如キ拳動ヲ執ツテ居ルノdeal。(拍手起ル) 彼等ハ、玉座ヲ以テ胸壁トナシ、詔勅ヲ以テ彈丸ニ代ヘテ政敵ヲ倒サントスルモノデハナイカ。……又、其内閣総理大臣ノ位地ニ立ツテ、然ル後(イ) 政党ノ組織ニ著手スルト云フガ如キモ、彼ノ一輩ガ如何ニ我憲法ヲ輕ク視、其精神ノアルトコロヲ理解セナイカノ一班ガ分ル。

(『帝国議会衆議院議事速記録』)

X 下線部(ア)は、桂太郎らを指している。

Y 下線部(イ)は、のちに立憲同志会として発足した。

① X - 正 Y - 正

② X - 正 Y - 誤

③ X - 誤 Y - 正

④ X - 誤 Y - 誤

問8 下線部(g)に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

38

① 『憲法講話』を刊行し、天皇機関説や政党内閣論などを唱えた。

② 『中央公論』に「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」を発表した。

③ 自由主義的な刑法学説を唱えたとして、京都帝国大学教授が休職処分を受けた。

④ 近衛文麿内閣は、この人物の学説を否認するために国体明徴声明を出した。

日本史(20220205) 解答一覧

大問	問	解答欄	正解
1	1	1	①
	2	2	③
	3	3	③
	4	4	①
	5	5	④
	6	6	②
	7	7	②
	8	8	①
	9	9	③
	10	10	②
2	1	11	④
	2	12	②
	3	13	①
	4	14	①
	5	15	④
	6	16	③
	7	17	②
	8	18	③
	9	19	④
	10	20	⑥
3	1	21	②
	2	22	②
	3	23	③
	4	24	①
	5	25	③
	6	26	④
	7	27	④
	8	28	①
	9	29	④
	10	30	⑤

大問	問	解答欄	正解
4	1	31	③
	2	32	③
	3	33	④
	4	34	④
	5	35	③
	6	36	②
	7	37	①
	8	38	①
	9	39	①
	10	40	②